

第8回民主主義・開発・自由貿易ドーハ・フォーラムが13日に開会

第8回民主主義・開発・自由貿易ドーハ・フォーラムが2008年4月13－15日、カタルで開催される。同フォーラムには、政治や思想、経済、貿易、人権など各分野の学識者など専門家、及びこれらの分野に関心を持つ人たちが世界各地から参加する。

カタル外務省の会議常設委員会の主催による同フォーラムでは、経済・政治・開発問題や人権問題、南北協力の将来、パワーバランスの変化、格差是正の問題、エネルギー安全保障の重要性、国および地域同士の間により強力な関係の構築などが話し合われることになる。

また会議の参加者たちは、自由貿易、湾岸共同市場やアラブ共同市場をはじめとする共同市場、自由貿易協定(FTA)と同協定における大国とアジア市場の役割などといった問題についても議論することになる。

政治分野では、安定と安全保障の問題、地域ブロック化の将来と安定の保障におけるその役割、国際安全保障の将来、国際平和・安定の強化における国連など国際機関の役割が取り上げられる。

これらの他にも同フォーラムは、メディアの役割の将来、障害となっている諸法令に対するアラブ・メディアの対応、政治的变化に対するメディアの影響、衛星放送の影響、“国境なき”世界におけるメディアの活動の自由の問題を議論する。

また、国際的な対話と世界平和の問題に特化されたセッションも幾つか設けられ、文明・宗教間対話や国連改革の問題、開発途上国での民主主義に対する欧米の立場、アラブ世界での民主主義・イスラーム運動などのテーマが話し合われることになる。